

# 令和8年度予算案のEBPM「地域子ども・子育て支援に必要な経費」

## 課題データ

子育てにおける負担として、身体の疲れや精神的疲れが大きいことが挙げられ、その負担を感じる子育て当事者の割合は増加している。  
・子育てによる身体の疲れが大きい（42.6%（2020年）←30.8%（2015年））  
・子育てによる精神的疲れが大きい（43.1%（2020年）←28.5%（2015年））  
更に、地域で子育てを支えるために重要なこととして「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が51.8%と最も高く、子育てにおける不安・負担の解消につながる支援の必要性が高いと考えられる。  
（内閣府「令和2年度少子化社会に関する国際意識調査」（2021年3月））  
（文部科学省「令和2年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査～」））

## 事業

### (10) 子育て世帯訪問支援事業

令和8年度当初予算案：2,231億円の内数

訪問支援員が、家事・子育て等に対して不安・負担を抱えた子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。  
具体的には、①家事支援（食事準備、洗濯、掃除、買い物の代行やサポート、等）、②育児・養育支援（育児のサポート、保育所等の送迎、宿題の見守り、外出時の補助、等）、③子育て等に関する不安や悩みの傾聴、相談・助言（保護者に寄り添い、エンパワメントするための助言等。なお、保健師等の専門職による対応が必要な専門的な内容は除く）、④地域の母子保健施策・子育て支援施策等に関する情報提供、⑤支援対象者やこどもの状況・養育環境の把握、市町村への報告、を実施する。

※アウトプットの（）内は直近の実績値

### アウトプット

子育て世帯訪問支援事業の実施自治体数  
（2024年度 697自治体）

### 短期 アウトカム

子育て世帯訪問支援の被支援家庭数の増加  
2026年度 14,158世帯（2024年度 11,168世帯）

### 中期 アウトカム

子育て訪問支援が家事・子育て等に対する不安・負担の軽減につながった割合の増加  
2026年度 70%（-）

### 長期 アウトカム

「子育てが地域で支えられていると思う」と回答する保護者の割合の増加  
2026年度 50%（2023年度 30%）

## EBPM指標

## 目標

子ども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべての子ども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

子ども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み